

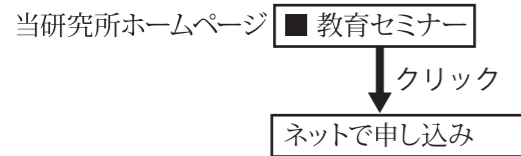
参加申込方法等

申込方法

以下の2つのいずれかの方法でお申し込みください。

①《インターネットのホームページ》

11月上旬よりお申し込みいただけます。



<http://www.sokyoken.or.jp>

②《FAX》

申込書（FAX専用）に必要事項をご記入の上、送信ください。

申込締切日 平成31年2月15日（金）

参加受付

ハガキあるいはe-mailにて受講票をお送りします。

e-mailの場合はプリントしてお持ちください。

参加費（研究紀要代を含む）

- ◆ 一般 3,000円
- ◆ 学生 1,000円

【参加費は当日、現金でお願いいたします。】

連絡先

一般財団法人 総合初等教育研究所
 東京都文京区大塚 3-16-12 (〒112-8635)
 TEL: 03-5976-1309 FAX: 03-5976-1518
<http://www.sokyoken.or.jp>
 (担当: 成田幸子/矢野洋子)

昼食

日本教育会館内には、お食事処が複数あります。
 詳しくは、日本教育会館ホームページ
 《<http://www.jec.or.jp/>》をご覧ください。
 近くには、コンビニ、飲食店も多数あります。

※ご記入いただきました「個人情報」は、本教育セミナーのためにのみ使用し、第三者への提供・開示はいたしません。

一般財団法人 総合初等教育研究所 主催

第22回 教育セミナー参加申込書（FAX専用）

※所定の欄にご記入の上、送信ください。複数人でご参加の場合には、お手数でもこの申込書をコピーして人数分を送信ください。

ご芳名	ふりがな	役職名
勤務先/学校名		TEL.
ご自宅住所 (〒 -)		TEL.
分科会は①～⑧より一つだけお選びください。		
①国語科 ②社会科 ③算数科 ④理科 ⑤道徳科 ⑥外国語 ⑦特別活動 ⑧授業技術		
E-mail		

※協賛会社からの教材情報・教育情報の提供がご不要の場合は（ ）に✓を入れてください。情報提供は不要（ ）



第22回 教育セミナー

第10期第1年次研究

『新教育課程に基づく授業の創造』
 —「深い学び」の実現と資質・能力の評価—

新学習指導要領への移行期間です。各学校においては、全面実施に向けて知恵を絞り、積極的に取り組まれていることと思います。「主体的・対話的で深い学び」といっても、深い学びが難しい。「カリキュラム・マネジメントの重要性は理解できるが、実施の仕方が分からない。」「新しい評価の考え方がどのように示されるかが知りたい。」など様々な課題が生じているように受け止めます。

本研究所では、これらの課題に応じて各教科での実践研究を積み重ねてきています。本年度は、第10期第1年次の研究成果を公开发表し、皆様のご意見・ご批評を賜りたいと考えます。

ご案内

日時 ▶ 平成31年2月23日 [土] 受付 9時30分より
 分科会 10時00分より
 全体会 13時40分より

会場 ▶ 日本教育会館
 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 tel. 03-3230-2831

!【ご注意】昨年度とは会場が異なります。



最寄駅のご案内
 地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅 (A1出口) 下車徒歩3分
 地下鉄都営三田線神保町駅 (A1出口) 下車徒歩5分
 東京メトロ東西線竹橋駅 (1b) 下車徒歩5分
 東京メトロ東西線九段下駅 (6番出口) 下車徒歩7分
 JR 総武線水道橋駅 (西口出口) 下車徒歩15分

日本教育会館ホームページの交通案内地図 <<http://www.jec.or.jp/koutuu/>>

主催：一般財団法人 総合初等教育研究所
 〒112-8635 東京都文京区大塚 3-16-12 tel. 03-5976-1309 fax. 03-5976-1518
<http://www.sokyoken.or.jp>

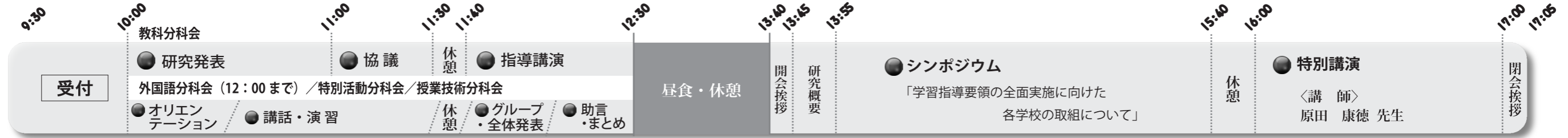
後援：文部科学省・東京都教育委員会
 協賛：株式会社 文溪堂

I 分科会

【午前の部】

II 全体会

【午後の部】



教科分科会

国語科

テーマ 言葉の力を活用し、深い学びを目指す国語科の授業づくり

主査 明星大学客員教授 邑上 裕子 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 菊池 英慈 先生

委員 東京都青梅市立第二小 松井優子 先生 東京都新宿区立落合第一小 福山貴司 先生 東京都杉並区立久我山小 依田亜希子 先生

社会科

テーマ 主体的・対話的な学びを通して深い学びを実現する社会科の授業づくり

主査 立正大学特任准教授 石橋昌雄 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小倉 勝登 先生

委員 東京都板橋区立板橋第十小 神村淳一 先生 東京都立川市立第二小 綾邊 香代子 先生 東京都世田谷区立経堂小 吉岡泰志 先生

算数科

テーマ 数学的に考える資質・能力を育成するための算数科の授業

主査 算数数学教育合同研究会会長 廣田 敬一 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 笠井 健一 先生

委員 東京都日野市立日野第三小 青木裕子 先生 東京都三鷹市立高山小 門田剛和 先生 東京都世田谷区立瀬田小 山口和也 先生

理科

テーマ 問題解決を通して資質・能力を育成する理科の授業づくりと評価

主査 國學院大学 准教授 寺本 貴啓 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 鳴川 哲也 先生

委員 神奈川県横浜市立上大岡小 岡田洋平 先生 神奈川県川崎市立日吉小 齋藤照哉 先生 東京学芸大学附属小金井小 葛貫裕介 先生

道徳科

テーマ 『深い学び』に向かう授業と評価の工夫

主査 全国小学校道徳教育研究会 顧問 馬場喜久雄 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 浅見 哲也 先生

委員 東京都板橋区立板橋第四小 吉羽扶美子 先生 埼玉県上尾市立富士見小 小島嘉之 先生 東京都稲城市立稲城第七小 齋藤優介 先生

教育課題分科会

外国語

テーマ 新小学校学習指導要領の外国語教育における指導と評価の在り方 — "Let's Try!" と "We Can!" の具体を通して —

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 直山 木綿子 先生 発表者 沖縄県宮古島市立東小 平良 優 先生

特別活動

テーマ 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」の指導の在り方

主査 國學院大学 教授 杉田 洋 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 安部 恭子 先生

委員 沖縄県那覇市立松川小 我那覇ゆり子 先生 東京都日野市立東光寺小 奥山良太 先生 埼玉県羽生市立羽生北小 石原良介 先生

ワークショップ

授業技術

テーマ 《子供と子供》《子供と教師》をつなぐ学級づくりのアイデア

主査 一般財団法人 総合初等教育研究所室長 根岸 永福 助言者 元全国特別活動研究会会長 物井 弘 先生

委員 東京都杉並区立馬橋小 中村三絵 先生 東京都杉並区立富士見丘小 山村あずさ 先生 東京都杉並区立馬橋小 齋藤慎一 先生

開会挨拶

一般財団法人 総合初等教育研究所理事長 水谷 邦照

研究概要

一般財団法人 総合初等教育研究所室長 梶井 貢

シンポジウム

1 テーマ

「学習指導要領の全面実施に向けた各学校の取組について」

2 討論の内容

今回のシンポジウムでは、次のような視点から論議を深めます。

1. 新しい授業づくりをどう進めたらよいか。
2. カリキュラム・マネジメントをどう実施したらよいか。
3. 新しい評価についてどのように取り組んだらよいか。

3 シンポジスト

シンポジスト：(一財)総合初等教育研究所参与・前国土館大学教授 北 俊夫 先生

シンポジスト：東京都町田市立鶴川第二小学校 校長 後藤 良秀 先生

シンポジスト：東京都荒川区立尾久第六小学校 校長 高橋 美香 先生

コーディネーター：帝京大学 教授 清水 静海 先生

▼シンポジウムの様子



特別講演

「プログラミングの大衆化とプログラミング教育」



大人の一般常識になっていないものを子供に教えるのは無理がある。子供へのプログラミング教育よりもプログラミングの大衆化が先である。一方、新しい技術によってプログラミングは劇的に簡単になった。全ての人がコンピュータの可能性と楽しさを享受できる時代は、すぐそこに来ている。

合同会社デジタルポケット 代表
原田 康徳 先生

閉会挨拶

一般財団法人 総合初等教育研究所室長 根岸 永福